

町長施政方針

平成 23 年 3 月町議会定例会における町長の施政方針を要約してお知らせします。



周防大島町長 椎木 巧

私が周防大島町二代目の町長に就任いたしましたから、早くも二年が経過いたしました。町政の様々な課題に思いをいたし、私に課せられました使命と責任の大きさを改めて痛感しております。

就任当初から、世界的に厳しい経済不況に見舞われ、今なおその尾を引いており、さらに政権交代や参議院選挙後の衆参のねじれ現象により、日本の政治、経済は混乱の度を深めております。

このような状況の中ではありますが、財政の健全化を第一に掲げ、「合併してよかったと実感できる町づくり」を念頭に、諸施策を推進してまいりました。

私にとりましては、任期の折り返しに当たる予算であります。「安心して幸せに暮らせる町づくり」のため次の目標を掲げ、これからの町政を積極果敢に運営してまいります。

① 行財政改革の積極的な推進

本町にとって今何が求められ、そのために限りある物・金・地域資源をどう有効に活用していくかを問いかげながら、行政サービスの向上、住民との協働、簡素で効率的な行財政運営を柱に、より一層の行財政改革に取り組みます。

② 賑わいの創出

交流人口100万人を目標に掲げ、体験型修学旅行の促進や、スポーツ合宿の誘致による、「賑わいの創出」を強力に推進します。

③ 安全安心の一層の強化、取り組み

防災関係機関や自治防災組織との連携を図り、その継続的な取り組みが、安全安心の一層の強化につながることを肝に銘じて、更なる災害対策を講じます。

④ 新たな農業・漁業への挑戦

農漁業の振興育成のための基盤整備はもちろんのこと、農業、漁業、豊かな自然や文化を機能的に活用して滞在型、体験型観光を進めることにより観光交流人口を増やし、これらを取り爆剤に産業の振興を図ります。

⑤ 自然と環境に優しい町

下水道、合併浄化槽の整備普及、住宅用太陽光発電などのクリーンエネルギーの推進を図るとともに、学校の耐震化を引き続き促進します。

⑥ 公聴制度の確立

公正で開かれた町政の推進と、町民の町政への参画促進のため、パブリックコメントなど公聴制度の一層の充実を図ります。

これらの政策の実現に向けて、次々の5つの柱を掲げ、誠実・着実に諸施策を実行していきたいと、決意を新たにしているところです。

○ 安心して子どもを生育てられる町づくり

ちびっ子医療費助成、特定不妊治療費助成については、引き続き無料化や、町独自の上乗せをします。また新たに子宮頸がんワクチン等接種を全額町負担で実施します。

学校校舎等耐震化については、久賀中学校校舎改築、東和中学校屋内運動場耐震化に取り組み、平成26年度末には耐震化率100%を目指します。

○ 働く意欲の湧き出る町づくり

拡大傾向にあるイノシシ被害防止のため、防護柵設置等の助成拡大や、新たな雇用機会の創出、人材育成のための緊急雇用創出事業を継続し、また新規就農者や漁業